

令和6年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立男女共同参画センター			
所在地	宝塚市栄町2-1-2 リオ2 4階			
指定管理者	団体名	(特)女性と子どものエンパワメント関西	指定期間	開始日 令和4年4月1日
	所在地	宝塚市中野町4-11		終了日 令和9年3月31日
選定方法	公募		評価実施年	指定期間5年のうち2年目
施設設置目的	男女共同参画の推進			
主な実施事業	上記目的達成のための(1)情報収集及び提供(2)諸問題に係る相談(3)啓発及び学習に関すること。ならびに男女共同参画推進を目的として活動している団体への(1)活動拠点の提供と交流・連携の促進(2)団体の育成に関すること。			

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数(人)	人	55,500	30,263	55,500	34,123	55,500	37,343	55,500	38,408
b 稼働率(%)	%	52.0	41.0	52.0	44.0	52.0	47.0	52.0	45.0
c 図書貸出率(%)	%	49.0	38.6	49.0	44.5	49.0	43.5	49.0	41.6
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分	A	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算
収入計	A	48,377	49,680	50,961	50,824
指定管理料		46,564	47,333	47,668	47,668
利用料収入	C	1,440	1,978	2,357	2,476
自主事業収入		0	0	0	0
その他		373	369	936	680
支出計	B	47,761	48,445	49,539	49,745
指定事業費		47,761	48,445	49,539	49,745
内、人件費	D	26,870	26,828	26,991	27,047
内、再委託料	E	3,555	3,679	3,917	1,850
自主事業費		0	0	0	0
事業収支	A-B	616	1,235	1,422	1,079
利用料金比率	C/A	3.0 %	4.0 %	4.6 %	4.9 %
人件費率	D/B	56.3 %	55.4 %	54.5 %	54.4 %
再委託費比率	E/B	7.4 %	7.6 %	7.9 %	3.7 %
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・事業費は、前年度以前の決算を記載する。					
補足説明	その他収入は、宝塚市物価高騰等対策指定管理者継続支援金を含む。				

4 評価

注)自己評価…指定管理者 所管評価…施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
①サービスの履行の確認	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A	A
	外部委託 外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。 外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A	A
	法令遵守等 法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護 個人情報保護に関する法令等を遵守している。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A	A
	情報公開 情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	A
	管理記録 業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整 協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	緊急対応 事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。 緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A	A
	財務状況 団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《総括》「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目／本施設項目】	A	A
②サービスの質の評価	施設管理 協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応 利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
	事業運営 事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に添った自主事業を実施している。	A	A
	維持管理 仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	A
	環境配慮 省エネルギー・省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動 事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情等対応 要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A	A
	利用者アンケート等 利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	利用状況 利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	A
	《総括》「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目／本施設項目】	A	A
③安定性	経理事務 専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行 収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費縮減 経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況 収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
《総括》「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目／本施設項目】			
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)		利用登録グループが企画し実施する市民企画支援事業の参画団体や、主催講座の参加者が増加し、多くの方に啓発事業を提供できた。ホームページをリニューアルし、事業内容、施設の情報を分かり易く発信したほか、一時保育者や相談員の研修にも積極的に取り組んだ。利用者数は増えたものの稼働率が減少していることについては利用促進に努めていきたい。	
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)		男女共同参画プラン推進フォーラムにおいて著名な講師を招聘し、多くの市民に参画いただき関心を持ってもらうことができた。また、男性セミナーでは男性のつどい場をテーマに実施し、自分の悩みを安心して話すことができ、参加者同士が気づきを得る機会となった。長年、継続して実施してきたことが実になってきており、今後も、市民のニーズを意識しながら利用人数等増加に努めてほしい。相談業務も市相談担当課とも連携し、市民にとってより良い支援となるよう期待したい。	
前年評価		A	総合評価 A

※評価区分

評価基準:	S	= 協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	= 協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	= 協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	= 協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	= 評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	= 評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	= S、A、C以外
	C	= 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	= 自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	= S、A、C以外
	C	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。